



大浦の空

本年度テーマ「絆づくりと確かな学力」

長崎市立大浦中学校
令和年度学校便り NO. 1
令和3年4月8日発行
文責：校長 竹市保男

キャッチフレーズ：「絆づくりは、明るく元気で大きなワンストップ挨拶から」 令和3年度がスタートしました！！

昨年度の4月を思い起こすと・・・、昨年度の入学式は、コロナウイルス感染拡大防止対策により、来賓様不在での実施となりました。4月6日から学校が再開したかと思えば、4月16日に非常事態宣言が発令され、長崎県内の学校が4月22日～5月6日まで休校となり、さらに5月10日まで延長される事態となってしまいました。それから、1年が過ぎた今でも、令和2年度の卒業式は、馬渡PTA会長以外の来賓様不在で実施し、令和3年度の入学式も卒業式と同様の対応となってしまいました。これまで、見守っていただいていた地域の方々の参加をご遠慮いただくことになってしまったことに、校長として大変心苦しく思っております。しかし、それは、生徒の命と安全を守るための最善の措置だと、ぜひ、ご理解ください。

さて、そんな中、4月7日に、令和3年度大浦中学校入学式を挙行いたしました。

新しい学生服に身を包んで、新入生43名が入学しました。新入生の瞳は、緊張の中にもキラキラと輝いて見えました。恐らく、一人ひとりが夢や希望を抱いているからだと思います。反面、たくさんの不安もあることでしょう。しかし、先生方や先輩たち、そして保護者や地域の方々が、皆さんを応援し見守ってくれていますから・・・心配はいりませんよ。

前日の4月6日の始業式に、新たな決意を胸に秘めながら校門をくぐってくれた2年生・3年生。それぞれに、元気で成長した姿が見られ、大変うれしく思いました。特に、2・3年生は、先輩としての自覚と誇りをもって1年生をリードしてくれることでしょう。特に、名実ともに「学校の顔」となった3年生の皆さん・・・よろしく頼みますよ！！

令和3年度の転入職員を紹介します！ 5名の先生方、よろしくお願いいたします

教諭 御所 智靖 (社会)	長崎市立戸町中学校より	教諭 井原理恵子 (英語)	長崎市立片淵中学校より
教諭 神之浦理代 (美術)	対馬市立仁田中学校より	教諭 岩本瑛里奈 (音楽)	新規採用
養護教諭 長濱 英子	長崎市立三和中学校より		

令和3度のキーワードは、「当事者意識」と「できるを増やそう！」

1 「当事者意識」を持っている人・・・って、どんな人？

- (1) 相手の立場に立って、自分の事として考え行動することができる人
- (2) 相手の痛みを共有することができる人
- (3) 感謝の心をもっている人
- (4) 思いやりの心をもって実践する人
- (5) 「いじめしない、させない、許さない」を実践できる人
- (6) 命の大切さを理解し、重んじる心をもっている人

※ 相手のことを、自分の事として考えられる人になりましょう！！

2 「できるを増やそう！」

- ① できると嬉しい。できると自信がつく。できることが増えると、自分を高めようと積極的に行動できるようになる。だから、多くの「できる」を頑張ってください。その結果、いろんな人に、ほめられてください。たくさんの「できる」にチャレンジして、「ほめられる生徒」になってください！！

大浦中学校の合言葉→「いじめをしない、させない、許さない！！」

大浦中学校の合言葉→「いじめをしない、させない、許さない。」

学校に登校すること。学校が楽しいと思えること。明日も学校に行きたいと思う自分がいること。このようなことは、しごく当然のことのように思えますが、実は、心の悩みや対人関係の悩み等々で学校に登校できない子どもたちがいるのが現実です。

大浦中学校は、全生徒が、「学校が楽しい、明日も学校に行きたい！」と思ってくれる学校を目指しています。そして、全生徒の元気な笑顔と楽しい会話が聞こえる「明るく温かな学校」を目指します。その実現のためには、いじめは絶対にあってははいけません。いじめゼロの学校でなければなりません。この1年間を通して、生徒一人ひとりが、仲間を思いやり、仲間の痛みを感じ、仲間を励まし、仲間と共に成長し、向上していこうとする生徒の育成に力を注ぎます。そして、「いじめをしない、させない、許さない。」という発言や行動ができる強くて優しい心をもった「大中生」を育てていきたいと思えます。

そのためには、私たち大人が、生徒の良いところを認め、伸ばしながらも、生徒の許せない行為に対しては、「ダメなものダメ」と、毅然な態度で向き合い指導していくことが必要です。保護者の皆様もどうぞご協力ください。

3年生の抱負 3年 中島 唯

いよいよ今日から、私たちは、大浦中学校で最高学年となり、大浦中学校の「顔」となります。つまり、私たち3年生がこの大浦中学校をリードしていかなければなりません。私は、日に日にその責任の重さを感じています。また、三年生には「受験」という大きな壁が立ちほだかります。私たちは、その壁を乗り越えなければなりません。そのためには、自分の進路に向け、今まで以上に教科の先生たちの話をしっかり聞き、授業を真剣に受け、家庭学習にも力を入れなければならないと思います。そして、勉強しやすい環境を自分たちでつくっていくことも大切だと思います。次に、生活面では、「ワンストップ挨拶」、「時間を守る」、「身なりを整える」、「言葉遣い」など、私たち3年生が後輩の手本になるよう、努めなければならないと思います。行事の面では、最後の体育大会、最後の中総体などがあります。そして何より、みんなが楽しみにしている修学旅行があります。一つの行事が、みんなにとって思い出になるよう、私は仕事などを人任せにすることなく、「周りの人のためにできることはないか？」を常に考え行動できる3年生になります。また、卒業するまでに悔いが残らないよう、3年1組32名のみんなと、助け合い、楽しい思い出をたくさんつくりたいです。

2年生の抱負 2年 古賀 颯樹

私が2年生になって頑張りたいことは、二つあります。一つ目は、家庭学習の時間を増やすことです。今まで家庭学習はしていましたが、家庭学習をする時間をあまりとらなかつたので、テストで思うような結果を残すことができませんでした。2年生になると学習内容が難しくなり、覚える量も増えるので、普段から集中して最低でも2時間以上家庭学習の時間をとる習慣を身につけて、学力を少しでも上げることができるよう頑張りたいです。

二つ目は、部活です。先輩になり、新しく入ってくる1年生に、いろいろなことを教える側となります。3年生は、中総体の後、受験勉強に入るのので、2年生が全体を引っ張っていかないとはいけません。先輩から教わったことをしっかり、後輩に教えてあげて、お手本になるよう頑張りたいです。不安もありますが、仲間と協力して一生懸命頑張りたいです。2年生には、たくさんの課題があります。その中で、二つのことを頑張りたいです。一つ目は、提出物を期限内に出すということです。2年生は、提出物を期限内に出す人があまり多くないので、2年生が終わる頃には、ほとんどの人が提出期限を守れるようにしたいです。二つ目は、授業中の私語をなくすことです。前と比べて私語は減りましたが、まだ完全に無くなっていないので、私語をしない環境をみんなで作っていきたいです。そのために、自分自身が、いい手本となるように自覚をもち、みんなに呼びかけて「当たり前前」のことが「当たり前」にできる」楽しいクラスになるように頑張りたいです。

中島さん、古賀君…立派な抱負でした！ありがとうございました！！
皆さん、大浦中学校がよりよい学校になるよう、「当たり前前」のことが「当たり前」にできる」生徒になりましょう！！

